

授業科目名	障害者福祉論 I		担当教員名	保科 和久
科目区分	社会福祉主事任用資格に関する科目		施行規則に定める科目区分 等	
必修-選択/単位数	選択 / 2単位 (30時間)		授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	2年 後期 (3期) / 年間開講数 1講座		特記事項	
授業の概要及び全体目標	①「障がいとは」 ②「障がい者福祉の基本理念」 ③各障がいに対する法体系 ④新しい障がいである「発達障がい」について ⑤障がい者教育の展開			
到達目標	現代の社会福祉制度における「障がい者福祉」の位置と役割を学び、日常生活の中にある「障がい者問題」を考える力を養う。 ①障がいを理解する ②障がい者福祉関係の法律の意味内容を理解する ③障がい者教育の意味を理解する ④障がい者が働く事の意味を考える ⑤障がい者の命と暮らしを考える。			
テキスト	使用しない			
参考書・参考資料等	毎回必要なレジュメを作成し配布して使用する。			
成績評価の方法	平常点 (受講態度など) 20% 毎回のリアクションペーパーの提出20% 目標到達度・理解度確認 (小テスト) 60%			
授業外 (事前・事後) 学習の方法、オフィスアワー等	毎回のテーマの用語等の予習(3時間),毎回のポイントの復習(3時間)			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	イントロダクション 障がい者福祉って			①
第2回	障がいの理解 I 「障がい個性論」とは？			①
第3回	障がいの理解 II ICF分類の基本的考え方			①
第4回	ノーマライゼーションとリハビリテーションの関係			②
第5回	障がい者の自立とは ILの意味するものは			②
第6回	障がい者基本法と各法の関係 「障がいの定義」の変遷の意味			③
第7回	身体障がい者福祉法・知的障がい者福祉法について			③
第8回	精神障がい者福祉と精神保健福祉法と他法との違い			③
第9回	発達障がい I 発達障がいの定義と他の障がいとの関係に関して			④
第10回	発達障がい II 自閉症グループとは			④
第11回	発達障がい III 注意欠陥多動性障がい・学習障がいとは			④
第12回	障がい者教育の展開 I 障がい者の教育権について			⑤
第13回	障がい者教育の展開 II 特殊教育から特別支援教育へ			⑤
第14回	障がい者教育の展開 III 障がい者教育の今後 どう動いていくのか			⑤
第15回	前期のまとめ			①,②,③,④,⑤